

現場に足を運び肌を感じたニーズに応えます！

あおしかくにお

活動報告レポート vol. 13

会派：つなぐプロジェクト



発行
つなぐプロジェクト 青鹿公男
東京都台東区東上野4-5-6
台東区役所7階

「令和2年度一般会計歳入歳出決算」、 「令和3年度一般会計補正予算（第4回・第5回）」など 議案17件を認定・可決いたしました。

9月13日から45日間にわたって開催された第3回定例会は、10月27日に終了しました。今定例会では、今後を見据えた地域経済活性化などについての区長発言や、区政に対する各会派の一般質問が行われました。また、「令和2年度一般会計歳入歳出決算」、「令和3年度一般会計補正予算（第4回・第5回）」など議案17件を認定及び可決したほか、皆さまから提出された陳情7件を審議しました。「誰もが住んでいてよかった」「住み続けたい」と思える台東区実現に向けて、全力で取り組んでいきます。今定例会では、9月21日の一般質問において、区長に対して提案・質問を行いました。質問要旨を記載させていただきましたので、ご覧ください。

● 令和3年第3回定例会(各委員会より)

- 区立幼稚園における預かり保育及び給食の試行拡充について
預かり保育……5園(根岸、金竜、田原、台桜、育英)
平 日：教育時間後～18:00
長期休業期間：9:00～18:00
給 食……区立幼稚園全10園
外部搬入による弁当給食、希望者は週1回、5回から選択
- ごみ量及び資源回収量について
令和2年度の台東区のごみ量及び資源回収量の前年度比は、ごみ量が84.1%、資源回収量は107.1%に→燃やすごみが在宅勤務で増加したのが要因
- 台東区経営持続化特別資金の受付期間の延長について
延長期間 当初 令和2年6月1日～令和3年9月30日
→変更後 令和3年10月1日～令和4年3月31日
- 令和4年成人式について
開催日 令和4年1月10日(対象者1,350人)
第1回 午前中……浅草、桜橋、駒形中学校卒業生及び〒「111」
第2回 午後……御徒町台東、柏葉、上野、忍岡中学校卒業生及び〒「110」
- 区立図書館の臨時休館について
システムの入替えに伴い、令和3年12月27日～令和4年1月9日 休館
新システムでは、自分の読書履歴を残すことができる新機能が追加に。

令和2年度一般会計歳出決算額を1万円に換算して目的別に表しました。

民生費	2,839円	高齢者や児童、障害のある方、生活に困っている方への給付のために
総務費	2,682円	災害時の対策、区民館等の運営、選挙などのために
教育費	1,792円	学校・保育園等の整備・運営や生涯学習の振興のために
衛生費	726円	健康づくりや環境の保全・清掃事業のために
土木費	491円	まちづくりの推進や道路・公園の整備のために
産業経済費	388円	地域産業の振興や消費者保護のために
文化観光費	99円	文化・観光の振興のために
その他	983円	国民健康保険、特別区債の償還、区議会の運営などのために

民生費 2,839円の中身

お年寄りや障害のある方のために	887円
次世代を担う子供たちのために	372円
生活に困窮している人のために	1,574円
将来の年金のために	5円
災害にあわれた方のために	1円

総務費 2,682円の中身

企画や広報、情報システムなどの区の庶務的事務のために	2,304円
災害対策のために	87円
税金を納めていただくために	38円
戸籍や住民票、印鑑登録のために	62円
選挙のために	9円
いろいろな統計調査のために	9円
区民のための施設の運営のために	168円
区の事務をチェックしてもらうために	5円

教育費 1,792円の中身

学校教育の充実のために	196円
小学校の運営のために	295円
中学校の運営のために	82円
校外施設の運営のために	7円
幼稚園の運営のために	64円
保育園の運営のために	869円
こども園の運営のために	98円
生涯学習の振興や図書館の運営のために	131円
生涯スポーツの振興のために	50円

衛生費 726円の中身

地域医療の充実や健康づくりのために	93円
保健所の運営のために	95円
健康増進や母子保健のために	221円
快適な生活環境のために	25円
清掃事業やリサイクルの推進のために	292円

土木費 491 円の中身

快適な自転車利用の推進のために	99 円
道路や街路灯の維持管理のために	198 円
河川の維持管理のために	1 円
快適な公園の改良・整備のために	62 円
建築に関する相談のために	17 円
地域特性を活かしたまちづくりのために	67 円
良好な住まいのために	47 円



産業経済費 388 円の中身

中小企業の支援のために	388 円
-------------	-------

文化観光費 99 円の中身

文化振興のために	66 円
観光振興のために	33 円

その他 983 円の中身

国民健康保険、介護保険、特別区債の償還、区議会の運営などのために	983 円
----------------------------------	-------

< 歳入について >

令和2年度の特別区税は、**納税義務者数が増えたこと**による特別区民税の増などにより、前年度と比べて**4億4千万円、1.9%の増**、特別区交付金は交付金財源である市町村民税法人分の減収により前年度と比べて**35億4千万円、11.4%の減**となり、特別区税及び特別区交付金の合計額は、前年度と比べて**30億9千万円、5.7%の減**となりました。

特別区たばこ税は、課税標準である売渡本数の状況や税率変更により増減があります。令和2年度は売渡本数の減少により、前年度と比べて6億4千万円、19.2%の減収となっています。

特別区税……一般に「住民税」と総称されている地方税のことで、東京23区(特別区)内での呼び方です。個人住民税、軽自動車税、タバコ税 など

特別区交付金……都が課税・徴収する市町村税のうち、固定資産税、市町村民税法人分、特別土地保有税の収入額の一定割合(平成19年度から55%)を財源として各区に交付するものです。

< 歳出について >

令和2年度は、特別区税・特別区交付金収入額が特別区交付金の減少により**5.7%の減**となり、歳出総額は特別定額給付金の支給や新型コロナウイルス感染症対策による増加など、**18.7%の増**となったため、歳出総額と特別区税・特別区交付金収入額の差は前年度と比べて**226億2千万円増**の727億円となり、この10年間で最大となりました。

歳出総額は社会保障施策の充実などを背景に、ここ10年はおおむね増加傾向で推移しています。歳出総額と特別区税・特別区交付金収入額の差は、歳出総額の減少により、平成25年度に縮小したものの、その後は拡大傾向にあります。

また、特別区債としては、浅草公会堂や根岸小学校などの大規模改修の財源として、**13億8千万円の特別区債**を発行しています。その他の経費は、特別定額給付金の支給や小・中学校ICT教育の推進などにより、前年度と比べて**197億5千万円の増**となりました。

扶助費の最も大きな要素である生活保護費は、実績減により、前年度と比べ**3.5%減の191億円**となり、**5年連続で減**となっています。児童福祉費は、平成27年度に、子ども・子育て支援新制度の開始や認証保育所運営費助成を補助費等から組替えたことなどにより、増加しました。

①新たな感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、地球温暖化によって未知のウイルスの発生リスクが高まるとされている。

デング熱発生時以来行っている調査手法がコロナ対策に生かされた他区の例もあることから、これまでの新型コロナウイルス感染症対策の経験を基に、**新たなウイルス**などの脅威に備える必要があるのではないかと。

そこで、本区の新型インフルエンザ等対策行動計画に、新型コロナウイルス感染症の経験を反映させ、今一度総点検を行い、**コロナ禍でも新たな感染症に備えるべきと考える**がどうか、区長の所見を伺う。

〈区長答弁〉

区では、これまで新型インフルエンザ等対策行動計画を策定し、感染対策用資器材の備蓄や訓練を実施して参りました。

デング熱が都内で発生して以来、本区でも、蚊が媒介する感染症のウイルス検査を継続して行っているほか、蚊の防除を道路や公園において実施しているところです。

新型コロナウイルス感染症については、人員体制を充実するなど必要な対策を実施し、感染拡大に伴い急増する保健所業務に対応して参りました。

今後、新たな感染症が発生した際も、今回の経験を活かし、国の動向等を踏まえ、対策を実施できるよう、行動計画の見直しも含めた体制づくりを進めて参ります。

②プラスチックごみの削減について

ペットボトルなどの使い捨てプラスチック製品の使用抑制のため、プラスチックごみ削減に向け、具体的な**マイボトルなどの取組みを行うべきと考える**がどうか、区長の所見を伺う。

〈区長答弁〉

循環型社会の実現には、プラスチックの使用量を減らすことが重要であると認識をしています。取組みについては、国の法整備や都の計画など、循環型社会の実現に向けた動きが急速に進んでいます。

本年3月に策定した「台東区一般廃棄物処理基本

計画」では、「使い捨てプラスチックの削減」を重点的取組みの一つに位置付けています。

削減に向け、マイボトルの利用促進をはじめ、使い捨てプラスチックを使わないライフスタイルへの転換などを、広く区民に啓発するとともに、庁舎内でのペットボトルの削減に努めて参ります。

今後とも、更なる効果的な取組みを検討して参ります。

③キャッシュレス決済の更なる普及・啓発について

今月から実施されている「江戸たいとうキャッシュレス決済ポイント還元事業」は、区民だけではなく事業者にとっても電子マネーの導入や活用をする機運醸成に繋がっていると考える。

一方で、区内の中小規模の事業者では、手続きがわからない、どの決済を導入すべきかわからない等の理由でキャッシュレス化が進んでいない。

今後、アフターコロナに向けて、**事業者のキャッシュレス化をできるだけ進めるべき**と考えるが、今後のキャッシュレス決済の更なる普及・啓発について、区長の所見を伺う。

〈区長答弁〉

キャッシュレス決済をはじめとするデジタル化の推進は、本区においても情報化推進計画に位置付けており、重要な取組みであると考えています。

キャッシュレス決済には、クレジットカード、電子マネーなどがあり、対応機器や手数料も様々です。

このような状況のため事業者からも、「どの決済を導入すればよいか判断できない」といった声が届いています。

今後、事業者のキャッシュレス化に向けて、現在実施している「江戸たいとうキャッシュレス決済ポイント還元事業」の成果や課題を踏まえたセミナーの開催、また、個別相談会の実施など、継続した普及啓発を行います。

また、国や都が実施するデジタル化推進に関する支援策についての周知に努めて参ります。

あわせて、消費者の利用促進を図るため、キャッシュレス決済に関するセミナーの開催や区公式SNSを活用した情報発信などを行っていきます。

所属委員会

●現在

会派 つなぐプロジェクト 幹事長
区民文教委員会
交通対策・地区整備委員会（前委員長）
国民健康保険運営協議会
都市計画審議会



あおしかくにおのプロフィール

◆1968年8月生 申年

萬隆寺幼稚園卒業
台東区立金竜小学校卒業
台東区立台東中学校卒業
東海大学付属高輪台高等学校卒業
東海大学工学部経営工学科卒業
株式会社 丸井 入社
2015年5月より台東区議会議員

◆過去の経歴など

台東区立金竜小学校顧問保護司
台東区立金竜幼稚園顧問
浅草芝崎町西町会青年部部長
西部16ヶ町連合会副会長
台東中学校同窓会副会長

無所属 会派：つなぐプロジェクト

